

・8市連携海洋プラスチックごみ削減キャンペーン

5月の8市*連携市長会議での合意事項を受け、クリーンキャンペーンとして各市で一斉清掃活動が実施され、鎌倉市は10月または11月に実施予定です。市内の様々な人や団体等と一緒に、一斉清掃だけでなく、展示会やイベントを行い、市民に関心を持っていただき、できるだけ楽しく広められるように取り組んでまいります。海洋ごみの7~8割が街や川からであり、海や砂浜のある自治体だけでなく広域で取り組むべきと要望してきましたので、今回の取組に感謝し、さらに全国に広がっていくことを望みます。



*8市：鎌倉市・横浜市・川崎市・横須賀市・藤沢市・逗子市・大和市・町田市

・大河ドラマ館 展示リニューアル

3月1日に開館以降、延べ来館数が10万人を超えた大河ドラマ館ですが、7月8日に展示がリニューアルされました。等身大パネルが増え、映像や画像の入れ替えなどが行われました。大河ドラマの世界観をお楽しみください。



また、大河ドラマ館入館時にお渡しするパンフレットの提示で「鎌倉国宝館」「鎌倉歴史文化交流館」がそれぞれ1回無料で入館することができます。両館とも2022年は鎌倉殿と北条氏に関連する展覧会が開催されています。

・市民は文化施設の観覧料が無料

鎌倉市民は以下の施設の観覧料が今年の4月1日から無料になりました。鎌倉の歴史・文化を体験できますので、ぜひ足をお運びください。

鎌倉歴史文化交流館

鎌倉国宝館

鎌倉文学館

鍋木清方記念美術館

川喜多映画記念館

グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分~8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。
終了後、意見交換会も行っております。



☆スケジュール☆

第112回:7月16日

第113回:8月20日

第114回:9月17日

第115回:10月22日



ひなた新聞 49号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年6月9日 生まれ (39歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。2021年3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会委員、会派「夢みらい鎌倉」代表



●マスク着用の考え方が公表

夏を迎え、屋内・屋外でのマスク着用についての考え方が、5月末に厚生労働省・文部科学省から公表されました。



屋外・屋内でのマスク着用について(厚生労働省・文部科学省)

- ・マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- ・屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。
- ・屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

屋外では熱中症を防ぐため、適宜マスクをはずしましょう。特に高齢者、子ども、障がいをお持ちの方は、熱中症になりやすいので周囲からも積極的な声掛けをお願いします。マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い・「密」の回避等の基本的な感染対策に努めていきましょう。



6月議会で行った一般質問の報告

通学路の安全安心



海の環境保全



子どもの視点を考慮した通学路の危険箇所マップ

学校によっては保護者が中心となり危険箇所マップを作成し、各家庭に周知しているとのことですが、大人と子どもでは目線が違いますので、大人には膝の高さのもので、子どもには大きく感じますし、見渡せる範囲も異なります。登下校の安全対策として、子どもが危険箇所を確認しながらマップを作成することも大切と議論をしました。



市からは「子どもの視点で見ることにより初めて分かる危険箇所もあると考えられ、子どもの視点も考慮した通学路の安全点検を進めることは重要であると考えます」旨のご答弁をいただき、前向きな検討をお願いしました。

安全を考えて通学し、安全になるよう整備していく

子どもたちが実際に歩いて危険箇所を考えることで、ただ漠然と「気をつけましょう」ではなくて、具体的にどう気をつけるのかを自分で考えて行動することにつながります。また、危険箇所を洗い出したままにしておくのではなく道路環境を整備していくことでソフト面とハード面の両方から安全安心な通学路に向けた取り組みを求めました。



市からは「毎年実施している通学路合同点検や学校での交通安全指導等に子ども目線や気づきを活かせるように検討していく」旨のご答弁をいただきました。

住所：鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料

危険ブロック塀の改善、未然に防ぐ取組

通学路における危険ブロック塀の改善率は、令和3年3月時点において60.5%となっており、計画では令和7年度末までに73%と掲げています。所有者に無理に改善を求めることは難しいですが、2分の1の補助金が交付される除却費用補助制度（通学路については10分の9）があるため、粘り強く働きかけを行うことと、危険なブロック塀の近くは歩かないように気づかせる工夫をするなど、未然に防ぐ取り組みを求めました。



横断旗を環境に配慮したものへ

横断中の合図として利用されていますが、旗の柄や一部の旗入れがプラスチック製のものが設置されています。不足や損傷によって交換等をしており、令和3年度の発注状況は横断旗が700本、横断旗入れが200箱とのことでした。プラスチックは軽くて使いやすいですが、今後は環境に配慮しプラスチック製以外のものを設置できないか議論しました。



市からは「環境に優しく経済的なものを調査し段階的に導入できるように検討していく」旨のご答弁をいただきました。粉々になっている横断旗を見かけることもあり、それが海へ流れてしまう可能性がありますので、積極的な取り組みを求めました。

海岸への下水道排水設備に向けて

近隣への臭気や環境面から海岸への下水道敷設は課題となりましたが、令和4年度は由比ガ浜及び材木座海岸において設備の設計業務が始まりました。



令和5年度中に完成、令和6年度の夏から使用開始を見込んでいるとのことですが「設計業務の進捗によっては前倒しできないか」、「設置後の利用方法」について議論をしました。そして、海の環境対策として市が敷設しますので、下水の利用を必須として、本管までの接続や下水利用の負担等は各海の家にしていただく形を考えられないかと申し上げました。

市からは「受益者負担の考え方を踏まえた設備利用料徴収の制度設計を行っていく予定である」旨のご答弁をいただきました。きれいな海を未来につなげる取組がようやく一歩進みました。